



インスピレーションになろう

Weekly Report

2018 / 12. 14 Vol.22 2018-2019



国際ロータリー第2670地区

高松西ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF TAKAMATSU WEST



会長:村上義憲 幹事:磯崎裕騎 会長エレクト:島谷隆 副幹事:植田真治 S.A.A.:低田陽介 創立/1969年4月14日 承認/1969年4月23日 チャーターナイト/1969年11月9日 発行/IT・広報委員会

| | | |
|--------------|------------|------------------|
| 今週のプログラム | 第 2398 回 | 12月14日 |
| 桑原征一ガバナー公式訪問 | | |
| 担当者 | 会長・幹事・各委員長 | 例会場 JRホテルクレメント高松 |

| | | |
|------------|------------|------------------|
| 先週のプログラム | 第 2397 回 | 12月7日 |
| (昼例会) 年次総会 | | |
| 担当者 | 会長・幹事・各委員長 | 例会場 JRホテルクレメント高松 |



村上会長挨拶



磯崎幹事報告



50周年記念事業委員会加藤委員長



新会員:松岡寛征会員

村上会長挨拶

・来週は、桑原ガバナー公式訪問の例会です。そして、21日が年末クリスマス家族例会で、前期が終了と言うことになります。「温故知新」とテーマを掲げて本年度が始まり半年が終わろうとしています。一体会長として何が出来たのだろうかと思ひ反省することばかりで皆様には申し訳なく思っております。しかし、多くの会員の方々のご協力により無事に50周年の大事な事業にも目途をつけることが出来、少しほっともしています。まだ、大事な記念式典もありますし気を抜くこと無くやって行きたいと思っておりますので、私の出来の悪さは寛容の精神でお許しいただき、これからも引き続きご指導、ご協力お願い申し上げます。先週の例会の時に申し上げましたが、クラブ協議会の進め方がちゃんと引き継いでなく、ガバナー補佐にも、お断りし少し簡略化したようなクラブ協議会になってしまいました。これ以外にも、為されなければならぬもので出来ていないものもあつたりします。温故知新のテーマが掛け声倒れにならないよう、やって行きたいと思っております。磯崎幹事と引継ぎ事項を整理し、島谷会長エレクトにちゃんとバトンを渡せるようにいたします。

年次総会

・指名委員会において会長ノミネーにおいて社会員に満場一致で決定したこと報告

磯崎幹事報告

- ・カマタマーレ讃岐よりご支援のお礼状が来ております
- ・ライラセミナーとフィリピンのバギオ基金の報告書が来ております
- ・来週、ガバナー公式訪問です。クラブプレザー着用をお願いします
- ・ハンブルグ国際大会の登録手続で早期登録による割引料金 \$ 395 でのお申し込みは、2018年12月15日(土)が締切です。希望者は幹事までご連絡ください

新入会員紹介

- ・松岡氏 職業分類 サービス業ビルメンテナンス

50周年記念委員会

- ・対外的国際奉仕 社会奉仕については終了
- ・今後は式典に軸足
- ・式次第スケジュール
記念式典14時スタート 記念講演15時30分 懇親会17時20分


例会終了後50周年記念委員会

- ・加藤、木内、村上、磯崎、島谷、植田、住谷、野口、稲井
- ・講演会の講師予定者 橋本大二郎氏

| | |
|--------------------------|---------------------------|
| 12月14日 今日は何の日 | 今日生まれの有名人 |
| 義士祭(東京都高輪泉岳寺)・赤穂義士祭(兵庫県) | 1979年 中野美奈子 1948年 にしきのあきら |
| 1903年 ライト兄弟の飛行実験成功 | 1968年 勝間和代 1901年 阪東妻三郎 |
| 1911年 アムンゼン隊が南極点に人類初到達 | 1955年 世良公則 1503年 ノストラダムス |
| 誕生花 | 松(まつ)、花言葉は“不老長寿” |
| 誕生石 | トパーズ(topaz)、宝石言葉は“希望” |

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー




例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)
今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2017pdf/12-14.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

| ニコニコBOX | |
|------------------------|------------|
| 本日より入会させていただきます。 | 松岡 |
| 大変お世話になり、ありがとうございました。 | 岡山北西RC・野球部 |
| 誕生のお祝いありがとうございます。 | 加藤(潤) |
| サンタ拝命受けました。 | 福家 |
| 誕生プレゼントありがとうございます。 | 木内 |
| 誕生プレゼントありがとうございます。 | 島谷 |
| 誕生プレゼントありがとうございます。 | 花苑 |
| 先月妻の誕生日プレゼント有難うございました。 | 近藤 |
| 遅刻・早退 | 3件 |
| 合計 11件 | |
| 本日の合計 | 37,500円 |
| 2017-2018年度累計 | 707,500円 |

| 例会変更 | |
|-----------|--|
| 12月17日(月) | 高松北RCは神明殿に変更 |
| 12月17日(月) | 東かがわRCは18:30魚源/夜間例会に変更 |
| 12月18日(火) | 高松中央RCは18:30家族会に変更 |
| 12月19日(水) | 坂出東RCは18:30セントベイヒルズ/クリスマス家族例会に変更 |
| 12月20日(木) | 高松グリーンRCは12月22日(土)16:30ホテルレオマの森/クリスマス家族例会に変更 |
| 12月20日(木) | 丸亀RCは18:30シェルエメール/夜間例会/忘年家族会に変更 |
| 12月21日(金) | 高松西RCは18:30クリスマス忘年家族例会に変更 |
| 12月21日(金) | 小豆島RCは18:00リゾートホテルオリビアン小豆島に変更 |
| 12月25日(火) | 高松東RC・高松中央RCは休会 |
| 12月25日(火) | 観音寺東RCは18:30に変更 |
| 12月26日(水) | 坂出東RC・善通寺RCは休会 |
| 12月27日(木) | 高松グリーンRC・丸亀RCは休会 |
| 12月28日(金) | 高松西RC・小豆島RCは休会 |
| 12月31日(月) | 東かがわRCは休会 |
| 1月 2日(水) | 善通寺RCは休会 |
| 1月 3日(木) | 高松グリーンRC・丸亀RCは休会 |
| 1月 4日(金) | さぬきRC・小豆島RCは休会 |
| 1月 7日(月) | 東かがわRCは1月12日(土)18:30夜間例会(新年家族会)に変更 |
| 1月 8日(火) | 高松中央RCは18:30リーガホテルゼスト高松に変更 |
| 1月 9日(水) | 善通寺RCは19:00菜を里/新年夜間例会に変更 |
| 1月10日(木) | 丸亀RCは19:00中津万象園懐風亭/丸亀東RCとの合同新年例会に変更 |
| 1月11日(金) | さぬきRCは18:30新年家族例会に変更 |
| 1月15日(火) | 高松中央RCは12:00NESTON Kids After School/職場例会に変更 |
| 1月15日(火) | 観音寺東RCは18:30に変更 |
| 1月16日(水) | 善通寺RCは善通寺市消防本部/職場例会に変更 |

| RI会長からのメッセージ(12月) | |
|---|----------------------------|
|  | 2018-19年度会長 バリー・ラシン |
| <p>『The Rotarian』、そしてロータリーの地域雑誌では、ロータリー年度の最初の7月号で、新しい国際ロータリー(RI)会長とその家族を紹介するのが習わしです。私はいつもこのRI会長紹介を楽しく読んでいましたが、私を取材するためにライターが、自分のクラブ例会を訪れる日がくるとは思いも寄りませんでした。昔から人の注目を浴びるのは苦手で、自分の写真が雑誌の表紙を飾ると考えただけで落ち着かない気分になります。しかし、編集者が選んだ写真を見た時、私はつい、ほほ笑んでしまいました。なぜなら、その写真の主役は明らかに私ではなく、妻のエステルでもなかったからです。それは、ロータリーなんてお構いなしに、同じ方向に向かって私たちの脇を通り過ぎていくフラミンゴの群れでした——1羽を除いては。</p> <p>私がロータリアンに伝えたいメッセージを、これほどうまく表現した写真はありません。群れとは逆を行くその1羽のフラミンゴこそ、ロータリーで私たちが行うべきことを見事に表しています。そのフラミンゴは、みんながある方向に向かっていることを知っています。それは分かっているのです。しかしまた、群れが向かっているその方向が最善ではないかもしれない、ということもそのフラミンゴには見えています。ひょっとしたら、向こうの方にもっと良い道があるかもしれない。仲間と一緒に道を進む前に、このフラミンゴはそちらもよく見てみたいのです。そして立ち止まって見てみて、もっと良さそうな道があったら、群れを呼び戻して一緒に確かめようと誘うことでしょう。ひょっとしたら、みんなと一緒にそのより良い道を選ぶことになるかもしれません。</p> <p>変化を起こすのは難しいものです。ある方向に向かって邁進してきた期間が長ければ長いほど、一緒に進む仲間が多ければ多いほど、そこで立ち止まって別の方法を選ぶのは難しい。しかし、組織が進化したい、重要性を失いたくない、正しい方向に進みたいのであれば、変化は欠かせません。それも、ただ変化を起こせばいいというわけではなく、慎重に、よく練られた、目標に向けての変化でなくてはいけません。</p> <p>ですから、表紙の写真をよく見てください。といっても、見てほしいのは私ではありません。主役は私ではありませんから。その1羽のフラミンゴこそ、表紙の主役です。良く晴れた朝にバハマで散歩するときも、ロータリーの進路を決めるときも、他にもっと良い別の道はないかと探してみる好奇心、勇気、そして信念を、この表紙は表しています。</p> | |
| ビジター | |
| 高松南RC 田中 弘之 様 | |
| メイクアップ | |
| 11月30日 | ワールド大阪ロータリーEクラブ 佐久間 |
| 12月 3日 | 高松北RC 近藤 |
| 12月 4日 | ワールド大阪ロータリーEクラブ 伊藤 |
| 12月 6日 | 高松グリーンRC 江島 |

| 出席報告 | | 出席委員長: 長尾和樹 | |
|---------|--------|-------------|--------|
| 会員数 / | 59名 | 出席規準数 / | 56名 |
| 出席者数 / | 32名 | 欠席者数 / | 24名 |
| 出席率 / | 57.14% | ビジター / | 1名 |
| 最終出席率 / | 11月16日 | 46.30% → | 75.00% |

| 次週のプログラム | | 第2399回 | | 12月21日 | |
|--------------------------|---------|--------|--------------|--------|--|
| (夜例会) 50周年記念 クリスマス・忘年家族会 | | | | | |
| 担当者 | 親睦活動委員長 | 例会場 | JRホテルクレメント高松 | | |

「庵治の方舟」の寄贈式

高松西ロータリークラブは、11月21日創立50周年記念事業の一環として、高松市防災合同庁舎(危機管理センター)の1階エントランスホールに舟をかたどった庵治石のモニュメントを寄贈しました。人や動物を大洪水から生き延びさせた「ノアの箱舟」をモチーフに、同センターが市民の安全・安心の拠点施設になって欲しいの思いから石のモニュメントを制作しました。贈呈式には高松西ロータリークラブ会員、約20名が参加し村上会長が「今後も市民の皆様にご貢献できる奉仕活動を続けていきたい」と挨拶しました。大西市長は「会員の思いが伝わるモニュメント。防災合同庁舎が市民の安全・安心の中核施設として役割を果たしていきたい」と謝辞を述べられました。



ミャンマー渡航記 (2018. 1114 ~ 18)

高松西ロータリークラブ50周年記念事業の柱であるミャンマー・ヤンゴンでの小学校校舎建設とR財団地区補助金を活用した医療器具の贈呈の為3度目の渡航でした。村上会長、鏡原団長ら総勢20名は地元で想像を超える歓迎と感謝を受けいづれもがロータリー理念に則した奉仕活動の実践だったと実感しました。ヤンゴン郊外車で1時間貧困地区は大概の学校は寺の管理が多く川が溢れるたびに水浸しになります。そこで鉄骨にレンガを組み合わせ3室の教室を2年掛かりで完成させました。トイレも改修しました。譲渡式には210名の生徒、僧侶達が出席顔一杯に喜びを溢らせていました。



子供は人類の宝です国が異っても可愛さ変わりありません。何時の日にかこの子供達が国を背負う事を願いながら現地を後にしました。

医療器具贈呈式 11.16

この前日、有志8名でヤンゴンから北に車で4時間の穀倉地帯にあるカニユックイン国立病院を訪問しました。R財団の地区補助金を活用して超音波噴霧器、車椅子、ストレッチャー等の医療器具7種類13器を贈呈しました。国立と言っても相当離れた地区には医療器具もなかなか回ってこないのが実状です、とミャンモート医院長は嘆いていました。この地域は埃っぽい土地柄で多くの住民が肺関係の疾病に悩まされています。

近隣3病院でも使わせて頂きます。と感謝の言葉を頂きました。この国は事実上の軍事政権下にありアウン・サン・スーチさんも苦勞が絶えないようです。まだまだ各方面からの支援が必要です。

地域総合 2018年(平成30年)12月5日(水曜日)

ミャンマーに新校舎を寄贈

高松西ロータリークラブ(RC)・村上義孝会長は、創立50周年記念事業の一環として、ミャンマーのヤンゴン市にあるウルカヤーマン国立小学校(児童数120人)に校舎を新築し寄贈した。

校舎は木造平屋建てで、延べ床面積180平方メートル。

40人程度が学べる教室が3部屋あり、約200万円をかけて整備した。

寄贈式が11月17日に現地であり、村上会長らが同校を訪問、新しい校舎の完成を喜び、子どもたちと一緒に記念撮影するなどして交流を深め、写真、ウーバーモック校長から同RCへの感謝状が贈られた。

また、同RCは同市近郊の国立病院に30万円相当の医療器具を贈った。

四国新聞に掲載されました



尚、今回の奉仕活では本クラブのキンマウンサンとお兄さんのお力添えが大きな力になったことを付け添えておきます。

記：野口 一臣

ロータリーの特別月間 (12月)

疾病予防と治療月間 (Disease Prevention and Treatment Month)

2014年10月RI理事会は、12月を重点分野：「疾病予防と治療月間」とした。地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止することを目的とした、地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>





共に考え、 共に行動しよう！

国際ロータリー 第2670地区
2018-19年度ガバナー
桑原 征一

2018-2019年度国際ロータリー、バリー・ラシン会長のテーマが決定、発表されました。「BE THE INSPIRATION. インスピレーションになろう。」です。

バリー・ラシン会長が一番大切だと強調されていることは「クラブとロータリアンに対して、前向きな変化を生み出し、私たちが、今日直面する課題に勇気と希望、そして、創造性をもって、正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための“インスピレーション”なる必要がある。」と言われてい

ます。インスピレーションという言葉は、非常に幅が広く、日本語に訳すのはなかなか難しいのですが、あくまで、私個人の判断として、動機づける、鼓舞する、精進する等の意味合いがあると勝手に解釈しております。

「変化を生み出そうという意欲を、クラブ会長と地域内ロータリアンの心に芽生えさせていただきたいのです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう、手助けをすることが皆さん方ガバナーの仕事です。」ということも言われております。

この会長のテーマに従い、私は本年度地区運営方針として“共に考え、共に行動しよう”としました。

先ず第1に、それぞれのクラブの中で、クラブとしての事業に対し、クラブのあり方に対し何かないか、共に考えて頂きたいのであります。その上、コンセンサスを得たものは、メンバー全員で共に行動して頂きたいと思っております。

第2に、クラブと第2670地区との関係です。御高承の通り第2670地区は、四国4県74クラブ、約3,000名の会員で、構成されております。

四国4県の、各地域に根付いた各クラブでは、その地域の特性に応じた各種の奉仕活動を積極的に展開し、大きな実績を、積み上げられて参りました。

各クラブの永年の活動に対し、心から敬意を表させていただきます。その一方、第2670地区でも、各地区内各クラブの温かいご理解とご支援を受け、各種の事業を展開しております。

先ずは国際奉仕部門ですが、長期交換、短期交換事業は、長年にわたり実績を上げている事業であり、これからも、継続すべき事業であります。これ等の事業は、担当委員会の皆さまの、献身的な努力で、支えられています。

青少年奉仕部門では、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、そして、ライラセミナーを実施しております。

また、公益財団法人米山記念奨学会で多数の海外からの留学生の支援も行っております。

これ等の地区事業は、地区内74クラブ3,000名の会員に支えられた事業であります。

しかしながら、残念な事ではありますが、これらの地区事業が地区内全ロータリアンに周知されている訳ではないと思われ

ます。私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、各種の意義ある奉仕事業について、理解が出来ていないのが実状であろうと思われ

ます。地区事業は、少数の熱意ある委員会のメンバーに任せきりだと思

います。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。

具体的には、下記の各項を奨励することにあります。

- 第1 知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人ひとりが個人として、また、事業および社会生活において、日々奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること。

これ等の目的を達成するために、ロータリーは、持てる力を発揮しなければならないと思います。それには、地区内クラブと地区との協力関係、相互補完関係が必要となります。

第2670地区と、地区内各クラブが共に考え共に行動する関係が重要です。

共に考え、共に行動する最後の関係は国際ロータリーと地区、また各クラブとの関係です。

2017年11月東京で開催されましたロータリー研究会に出席された2017-2018年度国際ロータリー イアン・ライズリー会長は、国際ロータリーのすべての事業活動は皆さん方の事業であり、皆さん方が、それぞれの地域で行う事業は、すべて国際ロータリーの事業であると発言されました。

全世界120万の会員を結びつけるネットワーク。これが、ロータリー奉仕事業の力の源泉であります。

ロータリー財団にその真髄をみる事が出来ます。

ロータリー財団の使命は

- ① 健康状態を改善する
- ② 教育の支援を高める
- ③ 貧困を救済する

この3点にあります

ロータリー財団の特筆すべき活動の1つであるポリオ撲滅活動があります。

30年前ポリオウイルスによって、まひ障害を発症する人は毎年推定35万人。4年前にはポリオによって359人の子供がまひ障害を発症していました。3年前には74人。2年前には37人。そして昨年は21人。2018年の現時点までに、ポリオを発症した子は一人もいません。

もう少し、あと一步のところまで来ています。

このポリオ撲滅活動にこそ、各地のクラブと国際ロータリーの協力関係の真髄があると思います。ローカルの力と、グローバルの力の融合があると思います。

国際ロータリーとクラブが共に考えるということは難しいかも知りませんが、共に行動する事は可能です。

グローバル補助金や、地区補助金を活用した事業を展開し、国際ロータリーとの連係を実感して頂きたいと思

います。以上が2018-2019年度国際ロータリー第2670地区の運営方針であります。

地区内74クラブ、3,000名の会員が力を合わせ一つになれば、地域に役立つ大きな奉仕活動が出来ると思

います。今年度は無理であっても、2-3年後位に協同で何かが出来ればよいなと考えております。

クラブと地区、クラブと地区と国際ロータリー、この連係が良い関係となることを祈念いたしております。

但し忘れてはならない事はロータリー活動の中心は、皆さま方のそれぞれの地域にしっかりと根付いているクラブであります。

クラブが自主性をもって、地域社会と共生することが、ロータリー運動の根源であると思

います。クラブがしっかりと主体性をもった上で、地区や国際ロータリーと共に考え、共に行動していきましょう。

地区内74クラブ、3,000名の会員の皆さま方のご支援、ご理解の程を宜しくお願い申し上げます。